

関西医科大学 大学院講座・がんプロセミナー

RNAが修飾されることでがんの悪性化を促進する

日時 令和6年12月26日（木） 15:30～

会場 関西医科大学枚方キャンパス 医学部棟4階
カンファレンスルームD
(〒573-1010 大阪府枚方市新町2丁目5番1号)

演者 **今野 雅允**
(国立研究開発法人産業技術総合研究所
細胞分子工学研究部門 主任研究員)

司会 **坂本 毅治**
(関西医科大学附属生命医学研究所
がん生物学部門 学長特命教授)

【概要】

近年、RNAが様々な修飾を受けること、安定性や機能が制御されること、RNA修飾の異常が様々な疾患に関わることが明らかになってきています。本講演では、RNA修飾の基本知識について説明し、今野氏らが明らかにした消化器がんにおけるRNAの質的変化に起因するがんの悪性化メカニズムや、社会実装に向けた新規診断治療法の開発状況について紹介することで、最先端の基礎研究が臨床にどう繋がるかを学ぶ良い機会になると考えられます。

【主催】 関西医科大学附属生命医学研究所がん生物学部門

【共催】 阪神5大学サステナブルがん人材養成プラン

【問合せ先】 関西医科大学がんプロ事務局

ganpro◆hirakata.kmu.ac.jp / 072-804-2305

・メールアドレスは◆を@に変換してください。

・学外からの参加希望の場合は事前にお申込みください。



阪神5大学サステナブルがん人材養成プラン

文部科学省採択事業
次世代のがん
プロフェッショナル養成プラン